



日本大学国際関係学部
科学研究費助成事業 研究成果シンポジウム

青少年の学びを育む

訪日教育旅行の展望を考える

～コロナ後の青少年交流の機会創出に向けて～



シンポジウム次第

1. 科研費による研究成果の報告
・訪日教育旅行の現状と課題
・地域での受け入れ促進に向けて

2. パネルディスカッション

★パネリスト

- ・(公財)日本修学旅行協会
国際部長 吉尾 道彦 氏

- ・(一社)地域振興交流協会
代表理事 二本柳 悟 氏

- ・(公財)大阪観光局留学生支援推進室
留学生・国際交流担当

コーディネーター 國守 正二 氏

- ・千葉県商工労働部観光誘致促進課
海外プロモーション班 宇内智史 氏

●コーディネーター

- ・日本大学 国際関係学部
教授 央戸 学

日時

2022年12月7日(水)

16:30～18:30

開催場所

日本大学国際関係学部
本校舎15号館 1512教室

定員80名様(どなたでも参加出来ます)

シンポジウム開催趣旨

シンポジウムは、本学部央戸学教授が採択された科研費「持続可能な訪日教育旅行誘致のためのプラットフォーム研究(課題番号:17K02138)」の研究成果を広く公開する目的で開催します。

お申込みお問い合わせ

日本大学国際関係学部研究事務課
詳細は裏面をご確認ください

青少年の学びを育む訪日教育旅行の展望を考える —コロナ後の青少年交流の機会創出に向けて— 開催・申込要項

1. 開催の趣旨

青少年交流や将来のインバウンド誘致等の問題意識から、政府は訪日教育旅行の促進に取り組んでいる。科研費における本研究は、「訪日教育旅行」誘致の持続的な取り組みのための受け入れプラットフォームを構築し、それを関係者に周知することである。

COVID-19の感染拡大後は、オンライン交流などが行われてきたが、コロナ後を見据えて、受入再開の動きも見られる。本シンポジウムにおいて、研究成果を報告し、教育旅行関係者を招き、今後の展望を議論するものである。

この取り組みは、(公財)日本修学旅行協会「教育旅行(2023年5月号)」に掲載し(予定)、科研費の研究の成果を関係者に広く周知することも目的としている。

2. 申込要項: QRコードまたはURLからオンラインで申し込んでください。この方法が利用できない方は、以下のメールかFAXにてお申し込みください。(申込方法)

①右のQRコードか<https://qr.paps.jp/Y2KfE>より申し込む

②〒411-8555 三島市文教町2丁目31番145号

日本大学国際関係学部 研究事務課 宛

FAX:055-980-0879 E-Mail:ir-kouza3@nihon-u.ac.jp



※「申込書」にご記載の個人情報は適切な方法で管理します。本シンポジウムに限定して使用し、第三者には開示・提供いたしません。

3. 申込期日:2022年12月2日(金)まで
(※定員に達した時点で、受付は終了します。)

4. 注意事項

(1)パネリスト等は、状況により変更の場合があります。

(2)受講許可の通知は致しません。ただし、何らかの事情による開催中止や定員超過で参加出来ない場合のみご連絡しますので、メールアドレスや電話番号等の記載は必ずお願いします。

(3)本校への車・バイク等の乗り入れは出来ません。公共の交通機関をご利用ください。